

総合事業D

≪成果①≫
 新たな知見

「米中関係を超えて：自由で開かれた地域秩序構築の『機軸国家日本』のインド太平洋戦略」

インド太平洋研究会：

インド太平洋地域の安全保障・経済における日本のプレゼンスの大きさとASEANのアクターとしての重要性が明らかになり、インド太平洋地域が直面する戦略的・経済的な課題を踏まえたQUADの対応のあり方、日本の「自由で開かれたインド太平洋」が各国の政策に与えている影響、ルールに基づく国際秩序の変容、安全保障・経済の両面にまたがる領域における具体的な課題の所在を浮き彫りにした。

中東・アフリカ研究会：

米国外交の東方シフトとアフガニスタンでのタリバン復権、地域大国間のパワーバランスの変容などの変化の中で、中国とロシアが経済・安全保障・軍事協力の各分野でのそれぞれの国・地域に深く広く複雑に入り込み存在感を拡大していることなど、両国の活動の諸相を多角的観点から考察し、そのプレゼンスを立体的に明らかにした。

成果を集約し、 展望と日本外交への提言を含む『戦略年次報告』を発表

《成果②》
シンクタンク・有識者との
連携（発信を含む）

総合事業D

「米中関係を超えて：自由で開かれた地域秩序構築の 『機軸国家日本』のインド太平洋戦略」

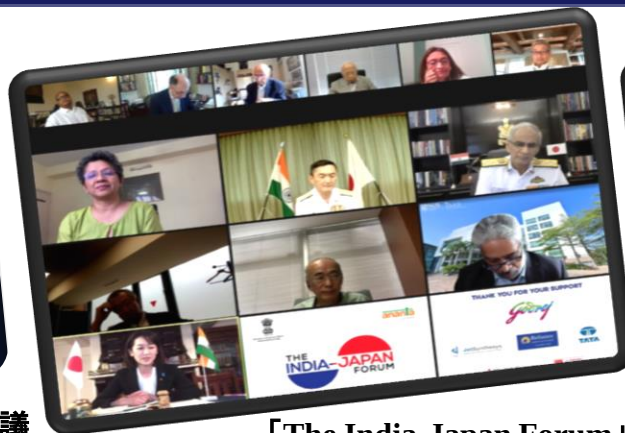
JIJA公開ウェビナー
第4回「日印インド太平洋フォーラム」
（日印トラック1.5対話）
自由で開かれたインド太平洋に向けた
日印関係の強化とクアッドの役割
2021年12月21日（火）



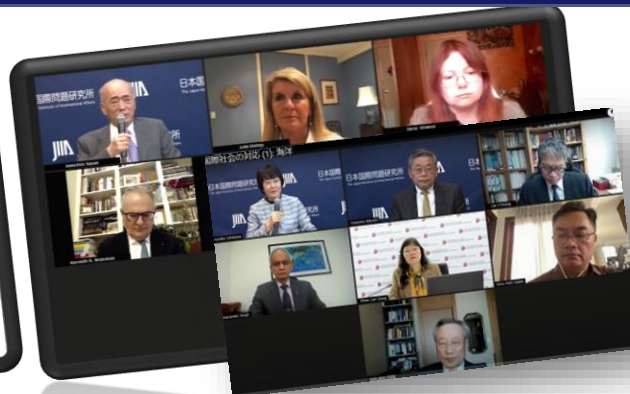
インドのデリー・
ポリシー・グループ（DPG）との共催で、
第4回「日印インド太平洋フォーラム」
（日印トラック1.5対話）開催（12/21）



第26回国際交流会議
「アジアの未来」（日本経済新聞社主催）
「米新政権とアジア」（5/21）



「The India-Japan Forum」
（6/20）



TGD3ラウンドテーブル（3/2）&
国際社会の対応・海洋（3/3）

インド太平洋地域における日印の
役割と協力、ルールに基づく国際
秩序の重要性などにつき議論

第三回東京グローバル・ダイアログ（TGD3）の開催：
米中対立を背景とするインド太平洋地域情勢、ルールに基づく国際秩序、海洋安全保障
について議論

アジアや中東の主要シンクタンクとの意見
交換を通じたネットワークの
継続・強化

アジア・中東諸国のシンクタンク主催
イベントに登壇し法の支配の重要性など
につき積極的に発信

海外主要シンクタンクとの活発な意見交換・ウェビナー開催により
グローバルな知的ネットワークの構築と対外発信

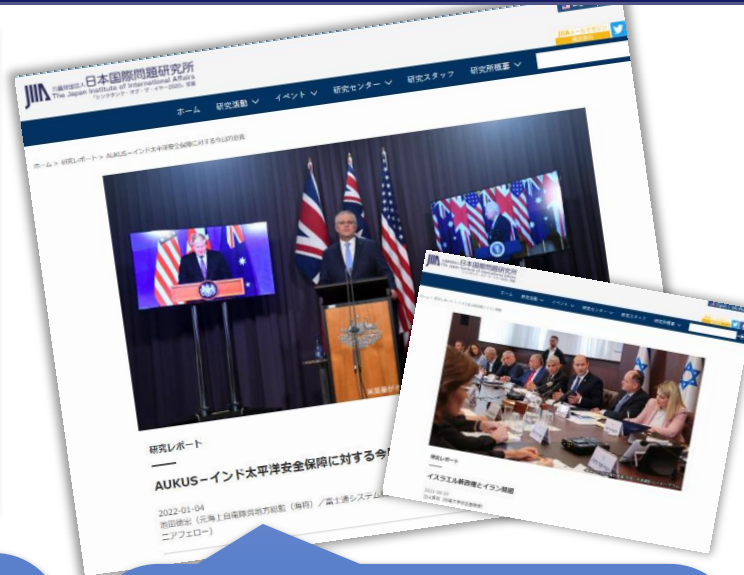
《成果③》
内外への積極的な発信

総合事業D

「米中関係を超えて：自由で開かれた地域秩序構築の
『機軸国家日本』のインド太平洋戦略」



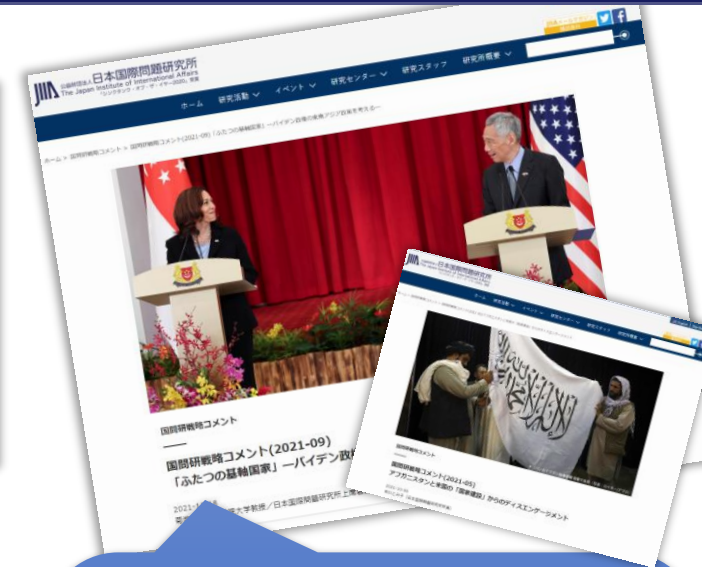
『国際問題』
「アメリカの政
権移行と中東国
際関係」を特集
しタイムリーに
発信



「研究レポート」
インド太平洋経済戦略や
AUKUSの意義、中東・アフリ
カの角などの地域情勢、中
国・ロシアの中東進出など、
計22本を発表（一部は英訳
済み）



「中東と海洋安全保障」
ホルムズ海峡と「アフリカの
角」地域に関する地域情勢と
海洋安保の専門家を両研究会
から招いて共同でウェビナー
を開催



「国問研戦略コメント」
バイデン政権の東南アジア政
策、米国のアフガニスタン撤
退につきタイムリーに発信
（一部は英訳済み）

専門性の高い最新情勢の分析・政策提言を分かりやすく発信